

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査
第 2 回地域検討会（三重県） 議事概要

日時：平成 19 年 12 月 1 日（土） 10:00～12:00

場所：鳥羽市民文化会館 4 階大会議室

議 事

開会（10:00）

- 1．開会あいさつ
- 2．資料の確認
- 3．議事

第 1 回地域検討会議事概要及び指摘事項について〔資料 1、資料 2〕

概況調査結果概要について〔資料 3〕

クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要について〔資料 4〕

その他調査の進捗状況について〔資料 5〕

今後の調査スケジュールについて〔資料 6〕

- 4．全体を通じたの質疑応答
- 5．その他連絡事項

閉会（12:00）

配布資料

- 資料 1 第 1 回地域検討会（三重県）議事概要（案）
- 資料 2 第 1 回地域検討会（三重県）での指摘事項に対する対応(案)
- 資料 3 概況調査結果概要
- 資料 4 クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要
- 資料 5 その他の調査の進捗状況
- 資料 6 今後の調査スケジュール(案)

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（三重県）

第 2 回地域検討会（三重県） 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順）	
石原 義剛	海の博物館 館長
片山 まちみ	桃取婦人会 会長
木下 憲一	鳥羽市企画財政課 課長
斎藤 秀継	鳥羽磯部漁業協同組合桃取町支所 理事
(代理: 小浦 嘉門)	鳥羽磯部漁業協同組合桃取町支所
高屋 充子	きれいな伊勢志摩づくり連絡会議 会長
高山 進	三重大学大学院生物資源学研究所資源循環学専攻 教授
竹内 清	鳥羽市環境課 課長
(代理: 中村 孝)	鳥羽市環境課 資源リサイクル係長
寺澤 一郎	三重県環境森林部水質改善室 室長
橋本 計幸（欠席）	鳥羽磯部漁業協同組合和具浦支所 理事
服部 千佳志	国土交通省中部地方整備局四日市港湾事務所企画調整課 課長
浜口 正文	桃取町内会 会長
水谷 直樹	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 副所長
山下 善継（欠席）	鳥羽磯部漁業協同組合答志支所 理事
山本 実	鳥羽市農水商工観光課 課長
オブザーバー（五十音順、所属機関名）	
岡 芳正	三重県環境森林部水質改善室 主幹
清水 敏也	鳥羽市企画財政課 課長補佐
下村 卓	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 河川管理課長
田中 則行	三重県農水商工部 水産基盤室 技師
中島 浩	海上保安庁第四管区海上保安部 鳥羽海上保安部 警備救難課 専門官
藤原 幹木根	三重県農水商工部 農業基盤室 主査
三浦 春弥	鳥羽磯部漁業協同組合桃取町支所
水野 博	三重県伊勢農林水産商工環境事務所 環境課 課長
宮崎 恵一	三重県環境森林部 環境森林総務室 主査
山川 豊	三重県政策部地方分権・広域連携室 副室長
和田 一人	三重県環境森林部 ごみゼロ推進室 副室長
環境省	
小沼 信之	環境省 地球環境局 環境保全対策課 係長
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
井川 周三	地球環境ユニット
宇野 正義	名古屋事業所
鈴木 善弘	地球環境ユニット
山田 忠男	名古屋事業所

議題1 第1回地域検討会議事概要及び指摘事項について(資料1、資料2)

- 1) 資料-1、2ともに承認された。

議題2 概況調査結果概要について(資料3)

- 1) 地元としては、台風後の河川増水とともに流されてくるゴミの時期に写真撮影してほしい。
写真撮影は、今年度の調査としている。
- 2) 写真の解析の考え方が、災害時か平常時の撮影かで時期は異なる。
今年度の写真撮影は、平常時に実施したことになり、予算の都合上新たに撮影することはできない。
- 3) 来年度も航空機による写真撮影調査は実施するのか。
来年度は、7県11海岸の全調査域において航空機による写真撮影は実施しない。

議題3 クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要について(資料4)

- 1) 調査結果において、ライターの「不明」が多いが、この不明を少なくすることはできないのか。
総括検討会の鹿児島大学 藤枝委員に分析をお願いすることも検討するが、今回の結果は文字の読み取れるものを対象として分析したものである。
- 2) ライターの分析を詳細に実施するにしても、サンプルは残っているのか。
サンプルが残っているものについては、分析が可能である。しかし、これまで予定以上に分析に時間を要しているため、どこまで踏み込めるか今後検討する。
- 3) 医療系廃棄物は、括弧書きで注射器の記載、針の有無についての記載をお願いしたい。
記載する方向で検討する。
- 4) 奈佐の浜にあるカキ殻は、漂流・漂着ゴミではないがゴミ拾いには危険であり、鳥羽市や三重県としてこれからどうするのか。
事務局としては、今回の調査では、海岸に漂着している表面のゴミが調査対象である。
- 5) 地元としては、今回の調査で収集しているゴミではなく、大きな流木で困っている。この点についても対象にしていただきたい。
今回の調査対象は、他地点でも同様の方法で実施している。このような事情から流木に関しては漁協所有の写真資料を活用させていただくことを検討する。
- 6) 水産研究所の船でダム放流時に観察を行ったが、潮目を調査することで、海流ではなく水の流れが把握できるはずである。
水産研究所の潮目に関する調査結果があればご紹介いただきたい。
- 7) 他の地域で実施している調査結果についても教えていただきたい。
今後、他の地域との比較について検討を進める予定であり、次回以降にこれらの結果を示す事ができると思う。
- 8) 第1回の委員会の時に議論が上がった、調査範囲や飛行機による撮影の調査等に関する意見について反映されていない。来年度は、上記の点について反映された形で調査が実施されないと非常に問題がある。
今後、2回目、3回目の調査を実施することにより、ご指摘の点についても問題点等が見えてくると考えており、この点についても今後の検討させていただきたい。

- 9) カキ殻のような地域が起因しているゴミについて、何かの方法論をもって推定することを考えていかななくてはならない問題である。来年度からは柔軟性をもった対応をするために、どこに調査の問題点があるのか次回でも教えていただきたい。

この点についても今後の検討とさせていただきたい。

- 10) 鳥羽市全体の中でも奈佐の浜は、比較的掃除のしやすい浜であるが、船や車で行けない浜もある。このような浜は流木やプラスチックが多く漂着している。この辺りの問題をどうするのかも含まれるので、今回の結果は、あくまで奈佐の浜の結果であると理解いただきたい。
- 11) 現状でも海に残飯を袋ごと棄てている現状があり、漁協の海水ポンプの作動不良の原因になっている事実がある。
- 12) カキのプラスチックについて、どのように対処するのか検討課題の一つに入れていただきたい。10)～12)について、カキ養殖のプラスチックや地元起因ゴミが棄てられている意見をいただいていた。非常に貴重な指摘で、奈佐の浜では漂着ゴミ多くあるが、地元のゴミも否定できない状況である。この調査で可能な範囲で分類等をしていきたいが、本調査での範疇を越えている部分もあり、県や市を中心としていろいろと相談させていただくが、是非とも協力いただきたい。

議題4 その他調査の進捗状況について（資料5）

- 1) 生分解性ペットボトルは、拾った後はどのように処理するのか。
フリーダイヤルに連絡をいただいた後、各地元の処分方法に従って処理いただく。
- 2) 答志島にもペットボトルが漂着すると思われるが、どのようなものが周知するためにポスターをいただきたい。
既にポスターを作成しているので、お送りするので周知いただきたい。

議題5 今後の調査スケジュールについて（資料6）

特に意見なし。

議題6 全体を通じての質疑応答

- 1) 三重県として、本日の貴重な意見が聞けてありがたく思っている。答志島の方が、たくさんの流木で苦勞質事も十分承知した。ただ、自分達のゴミもあることを認識（気づき）いただき、今後のゴミ削減の展開をしていきたい。ご存知のとおり、伊勢湾では、伊勢湾推進会議が設立されている。この中で、同じ視点で考える対策や枠組み作りについて、三重県が先頭に立って実施していくのがねらいである。この展開のため、たくさんの皆さんのご協力とご意見をいただきたい。
ご意見として頂戴した。
- 2) ペットボトル調査については、各地域の近隣の方々にも参加していただく事で、テレビ映りも良く、盛り上げる意味と関心を広める意味で良いのではないかと。
ご意見として頂戴した。
- 3) 本調査は、7県11ヶ所で行われているが、各地域での検討会の代表者が情報交換をする場が今後予定されているか。
ご指摘のとおり、横のつながりは重要と思っている。統括検討会の中でも同意見をいただいております。現時点では未定であるが情報交換の観点も含めて実施したい。なお、意見交換

結果についても最終的には公開になるので、きちんとまとめた形で外に発信していく。

- 4) 調査範囲のことで、西側にも範囲を広げてほしいとの要望がでていたので、指摘事項の中にいれておいていただきたい。

今年度は難しいので、来年度以降、ご指摘の範囲ができるかどうかも含めて相談させていただきます。

- 5) 来年度以降のこととして、子供達（地元の小中学校）の参加もお願いしたい。
ご意見として頂戴した。

以上